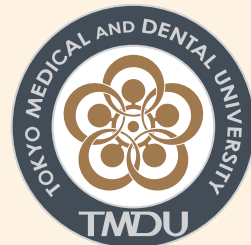


# 入院のご案内



★当院の理念・目標・学生の臨床実習への協力をお願い 他	
1. 入院手続き	4
2. 入院されるとき持ち物	4
3. 入院生活の過ごし方	5
4. 食 事	6
5. 面会について	6
6. 付添い	7
7. 入院中の禁煙について	7
8. 非常時の際は	7
9. 特別室	7
10. 入院費について	8
11. 入院費の支払い	9
12. 退院手続	9
13. その他	9
14. 「困った時・・・」のごあんない	10
15. 諸施設	10
16. 各フロア案内	11
★安全対策に関するお願い 他（医療安全管理部）	12
★感染防止のためのご協力とお願い 他（感染制御部）	15

## 東京医科歯科大学医学部附属病院

〒113-8519 東京都文京区湯島1丁目5番45号

TEL 03-3813-6111 (代表)

ホームページ <http://tmd.ac.jp/medhospital/>

入退院受付時間 8:30~17:00 (土・日・祝日除く)

(A棟1階 入退院受付窓口)

## 病院の理念

安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院

## 病院の目標

1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

## 患者の権利と責務

1. いかなる差別もなく、公平な医療を受けることができます。
2. 分かりやすい言葉で、病状、診断、予後、治療等について説明を受けることができます。
3. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法等を自らの意志で決定することができます。
4. プライバシーが保護されます。
5. 臨床研究に関し十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうか、自らの意志で決めることができ、いつでも参加を取り止めることができます。
6. 医療人の育成にご協力をお願いします。
7. 患者さん自身の健康に関する情報を医療提供者に、できるだけ正確に伝えてください。
8. 全ての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮をお願いします。

## 宗教的理由等による輸血拒否に関する当院の方針

当院では、輸血を行わずに治療ができるよう最大限の努力をしています。しかし、輸血によって救命・生命維持ができる可能性があるとして医師が判断した場合には、輸血を実施するという方針で対応させていただきます（いわゆる「相対的無輸血」）。

ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

## 安全管理指針

### 1. 患者対応に関する基本方針

十分なインフォームド・コンセントに基づく患者との良好な信頼関係のもと、患者本位の全人的医療、安全な医療の提供を行う。

### 2. 医療に係る安全確保の改善方策に関する基本方針

医療における日々の基本的チェックはもとより、医療現場からの医療安全管理に関する報告を通しての検証および事故防止対策を策定・実施する。

### 3. 職員研修に関する基本方針

医療における基本の徹底と質の向上を図ること、および医療に携わる者の一人ひとりの意識向上を図るため、教育・研修および講演会等を定期的に開催する。

### 4. 安全管理の体制に関する基本方針

上記の目的を実施するため、以下の機構を組織する。

#### (1) 医療安全管理責任者

医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療機器安全管理委員会、医薬品安全管理委員会を統括する。

#### (2) 医療安全管理委員会

本院における医療事故防止に関する方策の検討・実施、各種マニュアルの策定および研修等を行う。

#### (3) ゼネラルリスクマネージャー・医療安全管理部

安全管理レポートの調査分析評価等を行うとともに、事故防止に関する指導等を行う。

#### (4) 医療機器安全管理責任者・医療機器安全管理委員会

医療機器の安全確保を目的とした改善方策の検討・実施、医療機器の保守点検に関する計画の策定および医療機器安全使用のための研修等を行う。

#### (5) 医薬品安全管理責任者・医薬品安全管理委員会

医薬品の安全確保を目的とした改善方策の検討・実施、医薬品安全使用のための手順書の作成および研修等を行う。

#### (6) リスクマネージャー・リスクマネージャー会議

各診療科、中央診療部門等の中核となる実務担当者で構成し、日常における安全管理レポート等からの事故の検証と再発防止に努める。

#### (7) 院内死亡事例検証会

院内発生の死亡退院事例を全例検証し、医療の安全確保を図ることを目的としている。

## 安全管理指針

### 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針

- (1) 医療事故あるいは事故の疑いのある事態が発生した場合は、病院全体の組織として判断を行い、医療行為の倫理性、透明性を確保し、迅速かつ適切な対応を行う。
- (2) 外部評価システムを導入する。

### 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針

医療従事者は、本指針の内容を含め、患者と互いに情報を共有するものとする。

### 7. 指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、患者およびその家族等からの閲覧の求めがあった場合には、これに応じるものとする。

### 8. 患者からの相談への対応に関する基本方針

患者からの相談に対応するため、院内に患者相談室を置き、必要に応じ、関連部署との連絡調整を行い、相談内容を適切に処理する。

### 9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針

安全かつ高度な医療を提供するため、各種マニュアルの作成を行うとともに、その普及・実施に努める。

## 感染対策指針

### 1. 職員に対する研修に関する基本方針

- (1) 感染対策の基本的考え方および具体的方策について、職員に周知徹底を図ることを目的に実施する。
- (2) 職員研修は、就職時の初期研修のほか、全職員および職種別対象を年数回開催する。
- (3) 研修の開催結果を記録・保存する。

### 2. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針

MRSA等の感染を防止するため、「院内感染現況報告」を週1回程度作成し、対策室にて確認・検討を行うとともに、対策チームを通じ院内への情報提供・注意喚起に活用する。また、検討結果は委員会にて報告され、再確認等、活用する。

### 3. 院内感染発生時の対応に関する基本方針

異常発生時は、その状況および患者さんへの対応等を病院長に報告する。対策室にて速やかに発生の原因を究明し改善策を立案するとともに、状況に応じ委員会を開催する。

改善策を実施するために対策室・対策チームを中心に全職員への周知徹底を図る。

### 4. 本指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、患者さんまたは御家族が閲覧できるようにする。

## 医学部学生の臨床実習への協力をお願い

東京医科歯科大学医学部長  
東京医科歯科大学医学部附属病院長

本院は東京医科歯科大学医学部に附属する教育病院であり、患者さんの診療を通じて次世代の医療を担う研修医の臨床研修や医学生、看護学生、臨床検査学生等の臨床実習を行っています。

医学部医学科5年生および6年生（最終学年）は入学以来、医学に関する学習を行ってきました。そして臨床実習に必要な知識・実技について全国統一の共用試験ならびに学内独自の試験にて評価が行われ、合格した学生のみが、全国医学部長会議より「スチューデント・ドクター」と認定され、臨床実習を行うことができます。

臨床実習では、医学生が診療を見学させていただいたり、患者さんにご同意いただいた場合に診療チームの一員として患者さんからお話を伺ったり、診察をさせていただくことがあります。医学生の医療行為に関する全国指針に基づき、これら以外の医療行為（患者さんへの侵襲が小さく、プライバシー侵害にならないもの限定）の実施についてご相談させていただく場合もございますが、その場合は改めて口頭または文書によりご説明の上、患者さんのご同意があった場合のみ、指導教員である担当医の責任のもとに行われます。もし患者さんの健康ないしプライバシーを損なうような事象が発生した場合には、医学部長および病院長の責任で適切に対応いたします。

看護学専攻学生、検査技術学専攻の学生は、診療の補助、療養上のお世話、臨床検査等の実習を実施いたします。病院の職員と保健衛生学科の教員の指導の下に実施いたしますので、ご協力お願い致します。

また、他の教育機関からも看護師、薬剤師、臨床検査技師などを目指す学生の実習の受け入れを行っており、患者さんと対面しお話を伺わせていただくことがあります。

是非ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、お断りになられても患者さんに診療上の不利益が発生することはありません。

# 1 入院手続き

- 1) 入院の予約をされた方は、後日入院される診療科医師から、入院日をお知らせいたします。
- 2) 入院当日は、午前中に入院窓口（休日入院・時間外など緊急入院の場合は、A棟地下1階時間外受付）にて入院手続きをお願いいたします。都合により来院できない場合は、事前に入院される診療科にご連絡ください。
- 3) 手続きの際に提出していただくもの
  - 入院申込書と保証書（事前に書類を受け取られていない方は、当日お渡しいたします）
  - 面会についての確認書（ご面会の方にお部屋番号をお教えしてよろしいかお伺いいたします）
  - 診察券（初診の方は当日作成してお渡しいたします）
  - 保険証 ●印鑑 ●限度額適用認定証（交付を受けている方）
  - 受給証（高齢受給者証、その他公費負担医療等）
- 4) 医療扶助、育成医療、更生医療、特定疾患等公費負担の医療制度を受けられる方は、入退院窓口（A棟1階①窓口）へお申し出ください。
- 5) 労災や交通事故で入院される方は、入院窓口（A棟1階）へお申し出ください。
- 6) 入院中に、保険証の内容に変更が(予定)が生じたり、資格がなくなったときは速やかに入退院窓口（A棟1階）へお申し出ください。（保険証変更連絡がない場合、患者さんに一時的な負担が生じる場合があります。）

# 2 入院されるときの持ち物

洗面用具	歯ブラシ、ハミガキ、せっけん、くし、シャンプー ひげそり（電気のみ可）等
食 事	はし、コップ（割れにくいもの）、スプーン、吸いのみ（必要時）
寝衣類	パジャマ、寝巻、下着、上着（上に羽織るもの）等
日用品	タオル、バスタオル、ティッシュペーパー、テレビ用イヤホン（個室は不要）、室内履き（かかとのある滑りにくい靴。スリッパやサンダルはお控えください）等
その他	お薬（常備薬）お薬手帳・お薬説明書

※貴重品や多額の現金盗難の恐れがありますので、できるだけお持ちにならないようにしてください。

※A棟1階に現金自動支払機（三井住友銀行、セブン銀行）があります。

※入院セット【寝巻（パジャマ・甚平・浴衣タイプ）およびタオル類（バスタオル・フェイスタオル）】のレンタル（有料）を行っております。

※A棟16階入院の患者さんにつきましては、下記のものを用意してございます。

歯ブラシ	石鹸	くし	シャンプー
コンディショナー	ボディソープ	はし	スプーン
バスローブ	タオル	バスタオル	ティッシュペーパー

※入院時に必要な物品は、宅配便で「学内のセブンイレブン」に送ることができます。前日を到着指定でお送りください。

【送り先】〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学内 セブンイレブン  
☎03-5803-5992

※入院する診療科名は記載しないようお願いいたします。

【ご依頼主】患者さんのお名前・住所を記入

【荷物受取】セブンイレブン店頭にて「送り状」を提示し、お受け取りください。

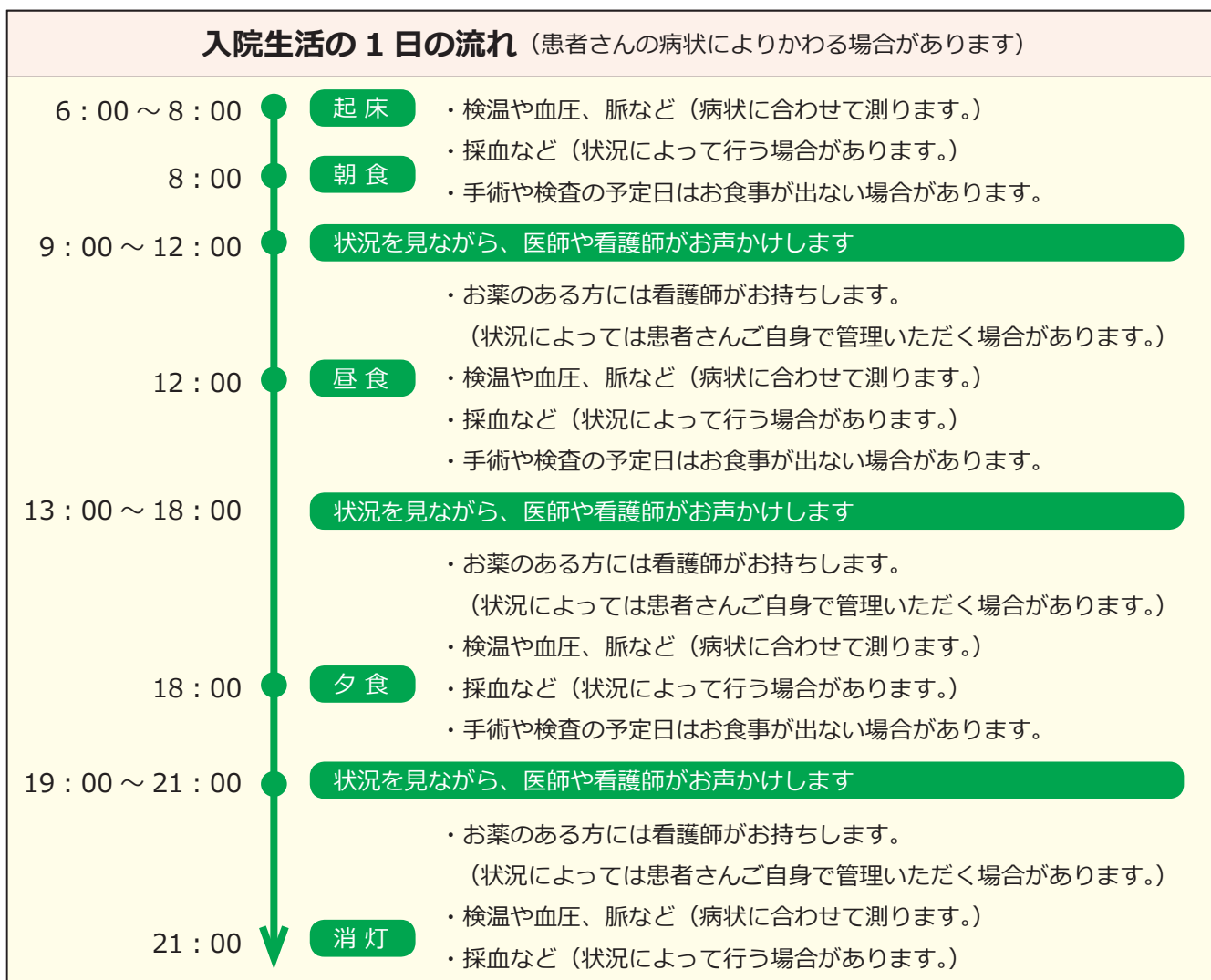
【お問合せ】セブンイレブン東京医科歯科大学店（24時間営業） ☎03-5803-5992

### 3 入院生活の過ごし方

- 1) 外出・外泊を希望される方は、担当医の許可が必要です。許可を受けましたら、所定の用紙に必要事項を記入した上 看護師に提出してください。
- 2) 浴室・シャワー室のご利用は、予約制で9時から18時迄です。ご希望の方は看護師にお申し出ください。なお病状によってはご利用できない場合があります。
- 3) 院内における携帯電話の使用は、マナーモードに設定し、所定の場所をお願い致します。また所定の場所でも他の患者さんの迷惑にならないようメールの送受信は消音とし、消灯時間後や歩きながらの使用、院内での写真・ビデオ撮影は、ご遠慮ください。病室内でのパソコン等の使用は、他の患者様のご迷惑とならないようご配慮ください。
- 4) 電話の取次ぎは、緊急時の伝言以外はお断りいたします。
- 5) 医師や看護師から出された療養上の指示は、お守りください。万一お守りいただけない場合は、退院していただく場合があります。
- 6) 病院スタッフへの謝礼は、固くお断りいたします。
- 7) 入院生活上の詳細については、入院時に看護師が説明いたします。また入院中、ご不明な点やお困りのことがありましたら、いつでも医師や看護師にご相談ください。

※ジェルネイルをされている方は、治療に支障をきたしますので、おやめください。

※診療上の理由により、病棟、病室を移動していただくことがあります。ご了承ください。



## 4 食 事

- 1) 病院の食事時間は、下記の通りです。
  - 朝食：8時頃 ●昼食：12時頃 ●夕食：18時頃
- 2) 食事は、症状により担当医の指示に基づいて用意されますので、病室への飲食物の持ち込みはご遠慮ください。また病院食は、管理栄養士により、栄養管理されています。
- 3) 毎食締め切り時間を設定して食事の管理をしています。締め切り時間は、次の通りです。
  - 朝食：前日16時30分 ●昼食：当日10時30分 ●夕食：当日16時

※食事代は1食ごとに計算されます。急な外泊や退院は食事代を請求させていただきます。また締め切り時間後のすぐの対応はできないこともあります。ご了承ください。

※主食（ごはん・パン）や食事内容の変更希望は、早めに担当医か看護師にお申し出ください。但し、主食の隔日対応（ごはんとパンを一日おき）はできませんのでご了承ください。

※衛生管理のため、配膳された食事は速やかにお召し上がりください。牛乳やヨーグルトなど取り置きされる場合は、冷蔵庫に保管し、配膳当日中にお召し上がりください。
- 4) 特別メニューについて  
1食あたり別途216円(税込)の自己負担にて、特別メニューを利用することができます。  
対象：一般常食・学童食  
※選択用紙配布回収後は、次回の用紙配布までご利用できません。また禁止食品等特別な指示がある場合もご利用できません。  
方法：毎週月曜日選択用紙配布・当日回収 ※詳細はディルールの掲示をご覧ください。  
実施：毎週水曜日～土曜日

## 5 面会について

- 1) 患者さんが十分な安静と療養をしていただくため、また患者さんおよび院内の安全を確保することを目的に、面会時間は下記時間帯とさせていただきます。

**面会時間：全日 13:00～20:00**

- 2) 患者さんの病状によっては面会をお断りする場合がありますので、ご了承ください。
- 3) 病室での飲食はご遠慮ください。
- 4) ご家族の方や付き添われている方、お見舞いに来られた方は、必ず「A棟地下1階防災センター」にて入館の手続きを行い、面会者カードやシールの交付を受けてください。面会者カード等は、お帰りの際にA棟地下1階防災センターにお返しください。
- 5) 夜間（平日20時から翌朝7時まで）と休日（土・日・祝日の終日）につきましては、オートロックとなっているため、入館できません。  
入院患者さんは、センター前の自動ドア横にある機械にネームバンドをかざしてご通行ください。
- 6) お願い……ご家族等のご面会の方には、次のことをお伝えください。
  - 面会時には、A棟地下1階防災センターで必ず入館手続きを行ってください。
  - ご面会の際は、必ず看護師もしくは病棟クラークに声を掛けてから病室にお入りください。
  - 大勢でのご面会、長時間のご面会、風邪等の感染が疑われる方や小学生（12歳）以下のお子様連れのご面会はご遠慮ください。なお、病棟によっては、時間や人数、年齢に制限がありますので、必ずご確認ください。
  - 病棟では、より良い環境を提供できるよう配慮しております。よって、歩く際に大きな音が発する履物での面会をご遠慮下さい。（特にヒール類は廊下に響きます）
  - 本院には駐車場（有料）もありますが、駅に近い場所にありますのでできるだけ電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。

## 6 付添い

入院中の生活援助は看護スタッフが行いますので、付添いの必要はありません。但し、病状等によって担当医が必要と認めた場合に限り、家族の方の付添いができます。

## 7 入院中の禁煙について

健康増進法に基づく「受動喫煙の防止」に伴い、病院の建物や駐車場を含む敷地内は全面禁煙となっています。入院中は、禁煙を厳守していただきます。



## 8 非常時の際は

- 1) 地震や火災などの非常時は、病院職員が誘導しますので、必ずその指示に従ってください。
- 2) 入院中は、非常口、非常階段の場所はあらかじめ確認してください。
- 3) 非常の際にはエレベーターは絶対使用しないでください。



## 9 特別室

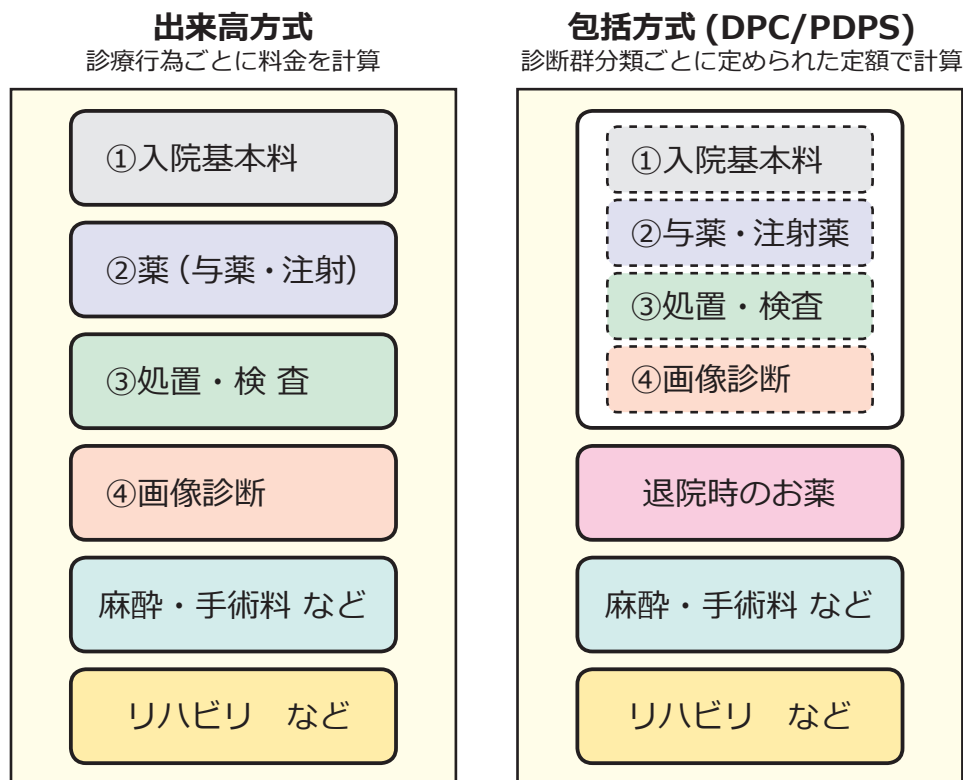
- 1) 特別室には、個室、2床室、4床室があります。
- 2) ベッド、床頭台、小物入れ、ロッカー、テレビ、冷蔵庫を備えています。グラン室、特別室を除き、テレビ、冷蔵庫はプリペイド式となっています。各病棟にある販売機でプリペイドカードを購入（1枚：1,000円）の上、ご利用ください。  
※プリペイドカードに残金がある場合は、払い戻しができます。精算機設置場所は、A棟1階とB棟地下1階です。
- 3) 当院は高度急性期病院であることから、頻繁に新たな患者さんが入院されます。特に緊急入院の際は、病棟や病室を移動いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 4) グラン室、特別室を利用される場合は、差額室料が発生します。（下記参照）
  - グラン室、特別室をご利用の際は、1日につき本院の定めた各室の使用料をご負担いただきます。ご希望される場合は、入院前に外来主治医または看護師にお申し出ください。
  - 入院後に下記を希望される場合は、担当医にお申し出ください。
  - 1日あたりの使用料及び各室の設備は次の通りです。※室数には限りがあります、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

等級 (個室種類)	料金 (1日につき)	シャワー	トイレ	キッチン	洗面台	電話	テレビ	冷蔵庫	床頭台	応接室
16階 グランS	80,000円 (税別)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16階 グランA	70,000円 (税別)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16階 グランB	50,000円 (税別)	●	●	●	●	●	●	●	●	
16階 グランC	35,000円 (税別)	●	●		●	●	●	●	●	
特別室 1 (個室)	20,000円 (税別)		●		●	●	●	●	●	
特別室 2-1 (個室)	15,000円 (税別)				●	●	●	●	●	
特別室 2-2 (2床室)	10,000円 (税別)				●		●	●	●	
特別室 3 (4床室)	5,500円 (税別)						●	●	●	
特別室 (PCU) (個室)	15,000円 (税別)		●		●		●	●	●	

## 10 入院費について

### 1) 医療費の算定方式（包括評価）

当院では、主治医が判断した「傷病名」や入院中に実施した「手術や処置等の診療行為に応じ、診断群分類に基づき、1日当たりの定額を基本として算出する包括方式（DPC/PDPS）で算定しています。図の通り、この算定方式が適用されるのは、入院基本料・検査・与薬・注射・画像診断等で、手術等については、従来とおりの「出来高払い方式」で算定されます。なお、精神病棟に入院されている場合は、「出来高払い方式」で算定されます。



### 2) 入院中に提供される食事代の負担 1食につき460円

※患者さんやご家庭の所得により、食事代の減額を受けられる制度があります。詳しくは加入している医療保険の保険者（高齢受給者証の方は居住地の市区町村）までお問い合わせください。

### 3) 入院中の医療費の窓口負担額の減額について

健康保険をお使いの方は、保険証を発行する会社や役所に事前に申請し、「限度額適用認定証」の交付を受け、病院に提示することで入院費用の窓口負担額が軽減されます。

詳しくは各保険証を発行する会社や役所にお問い合わせください。



## 11 入院費の支払い

- 1) 入院費のご請求は、毎月末で料金を計算し、翌月10日頃に請求書をお渡しいたします。  
また退院時には、退院日までの請求書をお渡しいたします。期日以内に支払い窓口（A棟1階③番窓口）または自動精算機にてお支払ください。入院窓口①番でのお支払いはできません。
- 2) 支払窓口の取扱時間は、月曜日から金曜日の8:30～18:00です。  
なお、時間外及び土日や祝日は、時間外受付（A棟地下1階救急事務室）にてお支払いいただけますが、必ず請求書をお持ちください。
- 3) 領収書は高額医療の払い戻し、所得税の医療費控除などに必要ですので、大切に保管してください。
- 4) 入院費の支払いについて、やむを得ない事情がある場合は、入退院窓口（A棟1階①番窓口）か医療連携支援センター医療福祉支援室（A棟1階病院玄関入口左側）にご相談ください。  
また入院中、退院前に入院費をお知りになりたい場合は、入退院窓口（A棟1階①番窓口）にご相談ください。概算額をご案内します。
- 5) 伝票等の遅延より、追加請求をさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 6) 医療費のお支払いには、クレジットカード、デビットカード（キャッシュカード）がご利用いただけます。  
※外来診療費でご利用いただけるあと払いサービスは、入院費ではご利用できません。ご了承ください。

## 12 退院手続

退院が決まりましたら、病棟クランクが退院の手続きを行います。  
退院時間は、原則「午前10時」となっています。

## 13 その他

- 1) 一般病室のテレビは、プリペイド式になっています。各病棟のディールームの販売機でプリペイドカードを購入（1枚1,000円）の上、ご利用ください。  
ご利用の目安      ★冷蔵庫・・・200円/1日  
                                 ★ランドリー・・・1工程（洗濯～乾燥）400円、乾燥のみ・・・100円/30分  
                                 ★テレビ　・・・100円/1時間
- 2) 郵便・小包・書類などの発送・受け取りについては、総務課総務係（MDタワー1階）にて取り扱っています。
- 3) 入院中の診断書及び証明書等の依頼は、入退院受付窓口（A棟1階）で手続きを行い、「証明書類作成依頼票」を受領された後に病棟スタッフにお渡しください。  
※退院後に入院分の各種診断書等が必要な場合は、証明書窓口④（8:30～17:00）（A棟1階）にお申し出下さい。
- 4) 当院では、患者さんのプライバシーを尊重する観点と個人情報保護法により、患者さんの入院にかかる電話での問い合わせには一切お答えしていません。身内の方などに、あらかじめお知らせいただくようお願いいたします。  
なお、病院外部から患者さんの入院の有無及び入院先の病室番号などの問い合わせについて、先方への回答を承諾されるかどうか、入院手続き時に確認させていただきます。
- 5) 下記のような迷惑行為があった場合は、診療をお断りする場合があります。
  - ・暴言または脅迫的な言動で、他の患者さんに迷惑を及ぼした場合
  - ・病院の業務を妨げた場合
  - ・病院の設備等を故意に破損した場合
  - ・危険物を院内に持ち込んだ場合
  - ・他の患者さんや職員に暴力行為やセクシャルハラスメントがあった場合

## 14 「困った時・・・」のごあんない

入院している患者さんが安心して療養生活を送れるよう、様々なご相談をお受けしています。

### ★医療福祉支援室（医療連携支援センター内 A棟1階 病院正面入口をいって左側）

「退院後の自宅療養や転院先について相談したい」、「医療費の支払いが心配」、「高額医療費について知りたい」、「難病申請・身体障害者手帳などの社会福祉制度について知りたい」、「介護保険のことについて知りたい」等の相談に、ソーシャルワーカー、退院調整看護師が対応します。

●受付時間：9：00～16：00（土日祝日、年末年始を除く） ●電話：03-5803-4518

※基本的には、「予約制」としておりますので、事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

### ★がん相談支援センター（腫瘍センター がん相談支援部門：A棟3階 エスカレーター横）

「今後の療養や生活のことが不安」、「家族としてどう支えたらよいか」、「治療について理解するにはどう聞けばよいか」、「治療の副作用や痛みとうまく付き合うには?」、「治療費が心配・・・」、「仕事が続けられるか・・・」、「緩和ケアについて知りたい」等の相談に、センターのソーシャルワーカーと看護師が相談に応じます。内容に応じて、医師、認定看護師、薬剤師、臨床心理士、栄養士をはじめとする院内の専門職種と連携し対応します。

●受付時間：9：00～16：30（土日祝日、年末年始を除く） ●電話：03-5803-4008

※基本的には、「予約制」としておりますので、事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

### ★患者相談室（医療連携支援センター内 A棟1階 病院正面入口をいって左側）

「診療科がたくさんあるので、どの診療科にかかったらよいかかわからない」、「紹介状がないとみてもらえないのかしら?」、「初診で診療を受けると、どのくらい費用がかかるのかしら・・・」、「設備やシステムに関して意見を言いたいんですが・・・」、「入院中に使用していた浴室用の椅子を自宅でも使いたいのですが・・・」等、相談員の事務職員、看護師が対応いたします。内容によっては、院内の関連部署から返答をいただき、掲示板にてご報告いたします。

●受付時間：9：00～16：00（土日祝日、年末年始を除く） ●電話：03-5803-4570

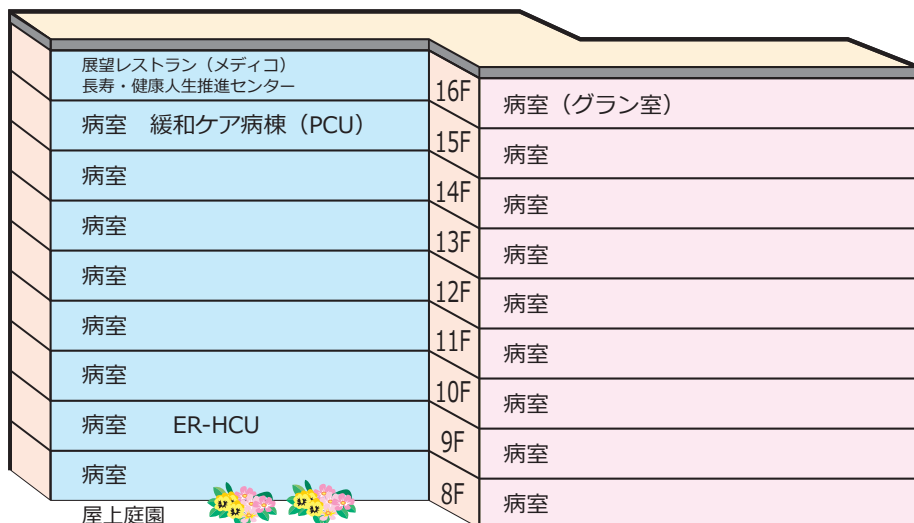
※電話及び面談にて相談に応じますが、お待ちいただくことがありますので、ご了承ください。

## 15 諸施設

施設		営業時間・サービス内容
医療売店	A棟1階	平日 9：00～18：00
寝具事務室	A棟地下2階	平日のみ 8：30～17：15 付き添い寝具、電報、入院セットレンタル、宅急便の扱い
公衆電話		外来玄関や外来診療フロア、病棟にございます。
レストラン(メディコ)	B棟16階	平日 11：00～20：00 土曜・日曜・祝日 12：00～17：00
コンビニエンスストア (セブンイレブン)	M&Dタワー1階	24時間営業
銀行ATM A棟1階	三井住友銀行	平日 8：45～19：00 土曜・日曜・祝日 9：00～17：00
	セブン銀行	24時間

# 16 各フロア案内

- 各外来への連絡 ☎ 03-5803- ××××
- 入院費等のお問合せ ☎ 03-5803-5128 (入院係)



	7F	自動販売機コーナー
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中治療部 (ICU)</li> <li>・ER-ICU</li> <li>・輸血部 ……………5646</li> </ul>	6F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術部</li> <li>・外科 HCU</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病理部</li> </ul>	5F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液浄化療法部 (透析)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来 整形外科 ……………5678</li> <li>・リハビリテーション部 ……5648</li> </ul>	4F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来 内科 (血液 / 糖尿病・内分泌・代謝 / 腎臓 / 老年病 / 消化器 / 循環器 / 神経) ……………5670</li> <li>耳鼻咽喉科 / 頭頸部外科 ……………5682</li> <li>小児科 ……………5674</li> <li>・光学医療診療部 (内視鏡) ……………5669</li> <li>・栄養相談室 ……………5134</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査部・中央採血室 (検体検査: 生化学、血液、細菌)</li> </ul>	3F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来 内科 (膠原病リウマチ / 呼吸器) ……4587</li> <li>周産女性科 ……………5684</li> <li>泌尿器科 ……………5680</li> <li>皮膚科 ……………5679</li> <li>形成・美容外科 ……………5924</li> <li>・検査部 (生理機能) 心電図、ガス代謝、脳波、基礎代謝 筋電図、超音波、心臓エコー</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来 精神科 / 心身医療科 5689</li> <li>・精神科ディケア</li> <li>・精神科病室</li> </ul>	2F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来 麻酔・蘇生・ペインクリニック科 ……5685</li> <li>心臓血管外科 / 呼吸器外科 ……………5677</li> <li>脳神経外科 / 血管内治療科 ……………5676</li> <li>眼科 ……………5681</li> <li>外科 (食道 / 胃 / 大腸・肛門 / 肝胆膵 / 乳腺 / 血管) ……………5675</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線部 (レントゲン受付) ……………5635 (X線撮影、MRI、CT、超音波、特殊撮影)</li> </ul>	1F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付窓口 (初診、再診、入院、退院)</li> <li>・医療費支払窓口</li> <li>・医療連携支援センター ……………4518</li> <li>・薬剤部 (お薬お渡し口、お薬相談室)</li> <li>・医療売店 銀行 ATM</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線部 (特殊撮影)</li> </ul>	B1F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センター (初療)</li> <li>・救急事務室 (時間外受付) ……………5102</li> <li>・高気圧治療部 ……………5341</li> <li>・防災センター 薬剤部 (時間外)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来 放射線科 (放射線治療、シンチ) ……………5683</li> <li>・PET センター ……………4750</li> </ul>	B2F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝具事務室 (付添寝具、電報・寝具、タオルレンタル等)</li> </ul>

**正面玄関**

**時間外出入口**

# 1. 安全対策に関するお願い

本院では職員一同、安全で良質な医療の提供に努めています。  
また、患者さんやご家族にも職員が取組んでいる安全対策にご参加いただき、一緒に安全を守って  
いきたいと考えています。

以下の確認および安全対策にご協力をお願い致します。

- ・入院中は常にネームバンドを装着していただきます。  
ネームバンドは、装着前にお名前間違いのないことを確認してください。
- ・ご本人確認のために診察・検査・治療のたびに「ネームバンド」での確認とお名前をお聞きして確認をします  
ので「フルネーム」で名乗ってください。
- ・点滴や注射を実施する際には、点滴ボトルのお名前を職員と一緒に確認してください。

- ・採血を行う時には、職員が検体容器のお名前を読み上げ、ネームバンドでの確認を行います。  
フルネームで名乗っていただき、検体容器のお名前と一緒に確認してください。



- ・食事やお薬、書類などの受け渡しの際は、食札、薬袋、書類に記載されたお名前がご自分のものであるかを職員と一緒に確認してください。

※お名前を確認することなく、診察や処置、検査・治療は行いません。

※食物やお薬でのアレルギーなど、重要な身体情報は必ずお知らせください。

また、困ったこと、わからないこと、気になることがありましたら遠慮なくお尋ねください。

お名前は間違い  
ないですか？



## 採血・静脈注射・点滴を受けられる患者さん・付添の方へ

「採血」は病気の診断、病状の把握を行うために、また「静脈注射」「点滴」は治療のために必要な医療行為です。「採血・静脈注射・点滴」は基本的に安全性の高い手技ですが、まれに合併症(偶発症)が起こることがあります。「採血・静脈注射・点滴」の必要性・危険性をご了解の上、お受けいただきますようお願い申し上げます。

### 採血・注射・点滴の伴う合併症について

合併症の頻度は極めて少なく、また軽症なものが多いとされていますが、まれに次のようなことが起きる場合があります。

#### 【止血困難・皮下血腫】

あざや内出血ができることがあります。穿刺後の不十分な止血などが主な原因です。

#### 【アレルギー】

採血時の消毒薬やスタッフの手袋(ラテックス)などで、痒み・発疹などのアレルギー症状が出現することがあります。

#### 【神経損傷】

採血・静脈注射時や後に、腕や手に広がる痛み・しびれなどが生じ、一定時間が経過した後も持続します。約1万回～10万回の穿刺に1回の頻度で起こるとされています。

#### 【血管迷走神経反応】

神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、めまい、気分不快感、意識消失などの引き起こします。0.01%～1%の頻度で起こるとされています。心理的に緊張・不安が強いと起こりやすくとされ、採血前に起こることもあります。

※これらの合併症が起きた場合には最善の処置を行います。なおその際の治療は、通常の保険診療となります。気になる症状がありましたら、すぐにスタッフへお知らせください。

### 採血・静脈注射・点滴を受けられる患者さんへのお願い

- 当院では採血・静脈注射・点滴を「安全に」「間違いなく」行うために次のことを確認させていただきます。ご本人確認・患者間違い防止のため、ご自身の姓名を名乗っていただいております。下記に該当する患者さんは、スタッフに申し出ください。
  - ・採血や注射時に気分が悪くなる方
  - ・消毒薬(アルコールなど)や手袋(ラテックスなど)にアレルギーのある方
  - ・血液透析中でシャントのある方
  - ・乳房切除術を受けられた方
  - ・血液を固まりにくくする薬(ワーファリン・バイアスピリン等)を服用されている方
  - ・血小板の減少等により、血液が止まりにくい方
  - ・以前の採血・注射で痛みやしびれを感じた方
- 採血・静脈注射・点滴後は揉まずに血液が止まるまで5分程度穿刺部を圧迫してください。血液の止まりの悪い方は長めの圧迫をお願いいたします。
- 結果・検査項目についてご不明な点は担当医にご相談ください。

ご不明な点・ご不安な点がございましたら遠慮なくスタッフにお訊ね下さい。安全で円滑な採血・静脈注射・点滴には患者さんのご協力が必要となります。なにとぞ、ご理解・ご協力をお願いいたします。

# 入院患者さん・ご家族の皆様へ

病院は、住み慣れた自宅と環境が変わり、今までできていたことが同じようにできないことがあります。また、治療や検査などで体力が消耗するなど、体にも変化が起こり転倒の危険があります。

## 入院中の転倒予防のために

### 1. 病院内では靴をはきましょう。



ご自分のサイズに合った滑りにくい靴を履きましょう。



スリッパやサンダルは脱げやすく、思わぬところで脱げたりつまずいたりします。



### 2. 足元がふらつくお薬・血圧に変化の起こるお薬は飲んでませんか？

お薬の種類によっては、足元に力が入らなかつたり、血圧が下がってふらつく場合があります。お薬については薬剤師・医師や看護師の説明をよくお聞きください。

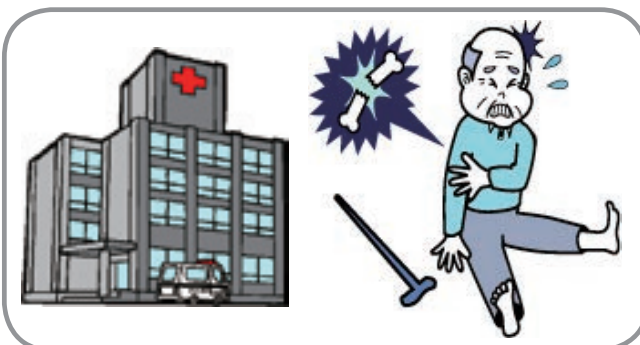
### 3. 治療や検査の後は体力が予想以上に低下しています。

いつも一人で歩ける人でも入院中は検査・治療で安静にすることも多く、体力や筋力が低下しています。過信せず看護師を呼びましょう。



### 4. 転倒時に思わぬけがをすることがあります。

転倒することで骨折などのけがをすると、入院が延びてしまうことがあります。



**不安な時、不明なことがある時は医師・看護師に声をかけてください。**

## 2. 感染防止のためのご協力のお願い

### <感染対策の表示について>

すべての人の皮膚や喉<sup>のど</sup>、消化管の中には、常在菌といわれる細菌が存在します。常在菌は健康な人には無害ですが、点滴など体に管が入っている場合や抵抗力が弱っている場合には、病気の原因となることがあります。このため、患者さんごとに適切な感染予防策を実施することが重要です。当院では、**すべての医療スタッフが適切な感染対策を確実に実施するために**、病室の前に感染対策を表示しております。皆様にもご協力をお願いいたします。

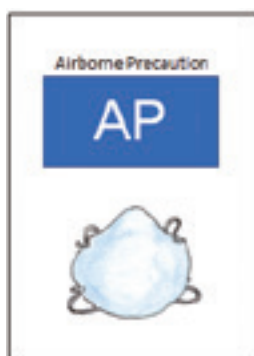
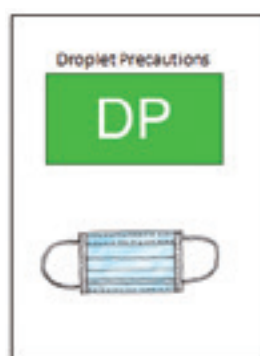
### <すべての人に必要な感染対策>



標準予防策と言ってすべての人に実施される対策です。

入院されている方やご面会の皆様は、病室に入る時と出る時に、入口の手指消毒薬で手の消毒をお願い致します。

### <患者さんの状態に応じた感染対策>



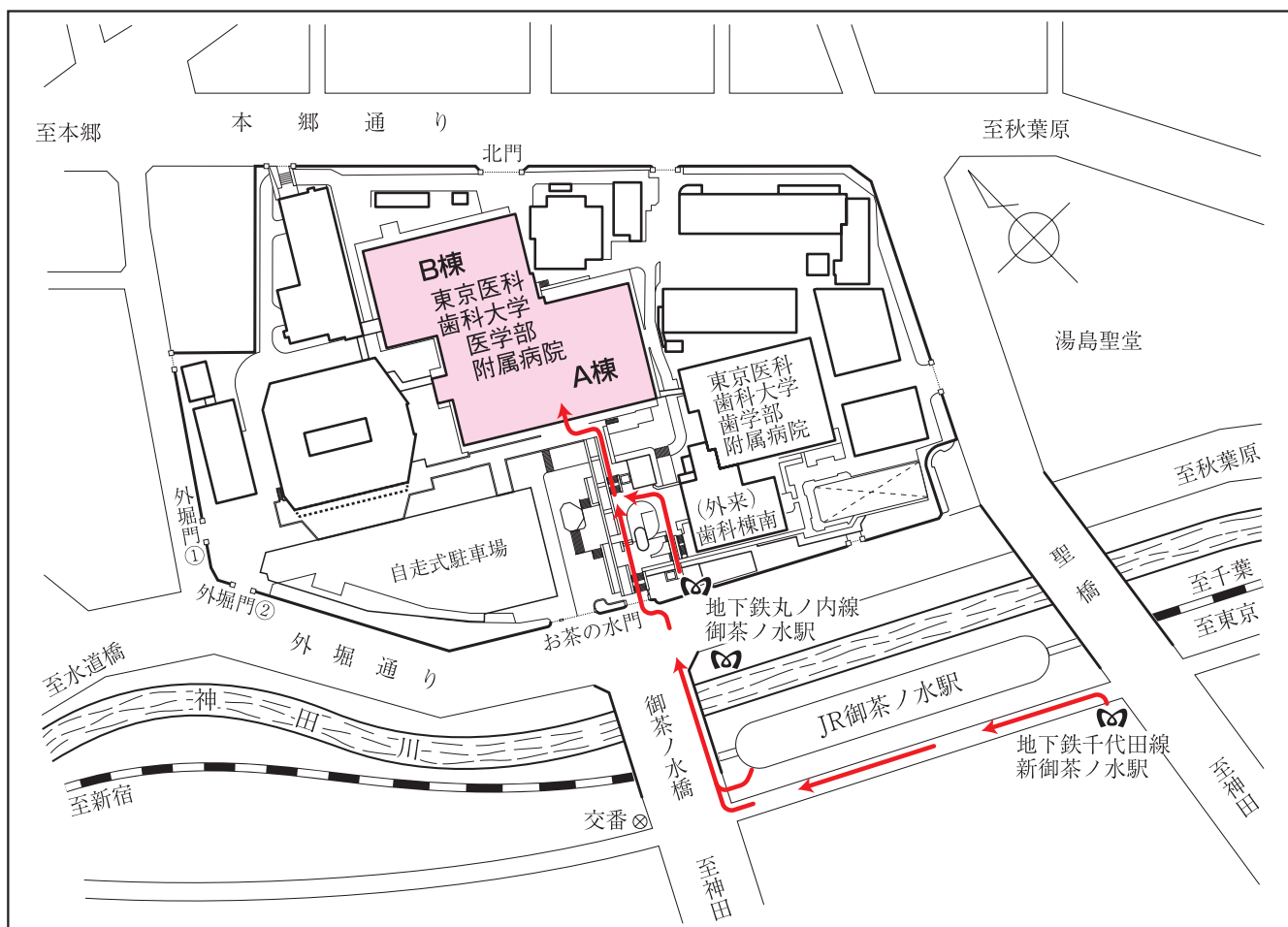
患者さんの状態に応じて、一時的に個別の対策を追加することがあります。必要な対策については、担当医師・看護師が説明いたします。

### <インフルエンザその他の流行性疾患の防止について>

- 咳や「くしゃみ」をする時は、ティッシュペーパーやハンカチで口や鼻を覆ってください。また、鼻をかんだ後は手を消毒しましょう。咳や「くしゃみ」が続く場合は、マスクの着用をお願いします。
- インフルエンザ・胃腸炎の流行期には、マスクをして、手を消毒後に病棟にお入りください。(マスクは1階、地下1階の自動販売機やコンビニで販売しております。)
- 次のような症状のある場合は、面会をご遠慮下さい。また、身近に同じ症状の方がいた場合は、医師や看護師にご相談ください。
  - ※3日以内に「38℃前後の発熱」「寒気」「咳・咽頭痛」「全身のだるさ」「下痢」「吐き気・嘔吐」があった場合
  - ※4週間以内に「広範囲の発疹」「耳の周囲の腫れ」などがあった場合
- 12歳以下のお子様は面会をお控えください。事情により面会が必要な場合は、病棟の受け付けで看護師にご相談ください。



## アクセスについて



### ● JR線

御茶ノ水駅下車——徒歩3分

### ● 地下鉄

御茶ノ水駅下車（丸の内線）——徒歩1分

新御茶ノ水駅下車（千代田線）——徒歩5分

### ● バス

○東43系統 都バス（荒川土手操車所—東京駅北口間） 御茶ノ水駅前下車

○茶51系統 都バス（駒込駅南口—秋葉原駅前間） 御茶ノ水駅前下車